



男女共同参画情報誌

# あなたとわたし

vol.62

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから



## コロナと男女共同参画

～新型コロナウイルスによる

新しい生活様式のなかで、

私たちの生活はどう変わるのか～



### 「あなたとわたし」デジ版について

目の不自由な方で、デジ版CD版「声のあなたとわたし」を希望される方に配布しますので、ご希望の方はお申込みください。

【問合せ】福生市生活環境部協働推進課 電話 042-551-1590

WHO(世界保健機関)が、今年1月に新型コロナウイルスを確認して以降、私たちの生活は大きく変わりました。どのように変化したのか、男女共同参画の視点から見てみます。



# コロナと男女共同参画

～新型コロナウイルスによる新しい生活様式のなかで、  
私たちの生活はどう変わるのか～

新型コロナウイルスによる世界的な流行は、かつてない大規模なものとなり、大人から子どもまで、全ての年代の人が大きくライフスタイルを変えることを余儀なくされました。その変化について、情報誌を作成する市民編集員たちとともに話し合いました。

## テレワークの導入

(コロナ禍の外出自粛によって、多くの事業者がこの制度を導入しました)

- ・家族で過ごす時間が増えた。
- ・家事や育児を行えるようになった。(男性)
- ・通勤時間がなくなり、個人の時間が持てるようになった。
- ・小さい子どもがいるため、仕事に集中できない。



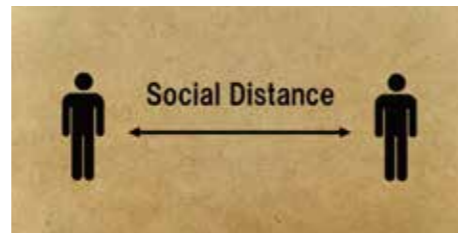
## 社会・経済への影響

(コロナ禍による、社会・経済の変化)

- ・勤務時間の減による収入の減。(パート)
- ・新規学卒者の内定取消し。
- ・マスクや消毒液の市場不足及び価格高騰。



## 外出自粛による影響



(外出がほとんどできず、自宅中心の生活となりました)

- ・家の大掃除や片づけをする時間ができた。
- ・コロナ禍に左右されない、屋内でもできる新たな趣味を開拓した。
- ・学校が休校のため、子どもが家事(料理や掃除)を行うようになった。
- ・運動不足やストレスの増加。
- ・学校や保育園の休校、休園により、子どもを家庭で見ることになり、フルに働けなくなった。
- ・人と会えなくなり、精神的に不安定になった。(高齢者ほか)
- ・虐待やDVの増加。

## この中でも、特に「DVの増加」について、注目しました。



外出自粛により、一日中自宅に居ることで、ストレスや不安などが募り、DVの増加や深刻化が懸念されています。DVは、重大な人権侵害であり、いかなる状況にあっても、決して許されるものではありません。

政府では、被害者が相談しやすい「DV相談ナビ」を開設しています。これは、全国共通の電話番号(#8008)にかけると、発信地等の情報から自動的に最寄りの相談機関の窓口に転送され、直接相談をすることができます。



相談者



発信



DV相談ナビ  
#8008



自動転送



最寄りの  
相談機関

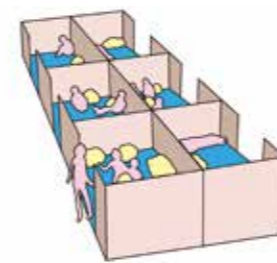
## 福生の避難所対策は？

台風や地震などの災害で、時には避難生活を行わなければならない場合もあります。新型コロナウイルスがまん延する中、市の避難所対策はどのようになっているのでしょうか？福生市安全安心まちづくり課に聞いてみました。



Q1. 避難所での感染症対策はどのようになっていますか？

A1. 避難所では、感染予防のため、ゾーニング(空間を用途に分けて区切る)を行っています。また、避難所に指定していない市の施設の利用や、小・中学校や都立高校の校舎内利用について協力を要請するなど、避難スペースの確保に努めています。今年10月に行った総合防災訓練では、市職員や教職員、自主防災組織等による避難所開設訓練を実施し、感染症予防を前提とした避難スペースの区画割りや、受付時の検温で発熱のある方などがいる場合を想定し、校舎内の会議室などを避難スペースとする対応訓練も行いました。



Q2. 備蓄品の状況は？

A2. 今年度、補正予算を組み、避難所の感染症対策のための衛生物品(マスク、使い捨て手袋、フェイスシールド、アルコール消毒液など)や、段ボールベッド、簡易間仕切りなどを購入し、各避難所の備蓄倉庫などへ配備しました。また、女性や乳幼児に配慮し、更衣室用テント、生理用品、乳幼児用粉ミルク・哺乳瓶、アレルギー対応食料などを備蓄しています。避難所生活時にも配慮出来るよう、目印となる、アレルギー・マタニティ・ヘルプマークなどのカードも用意しています。



## 「安全安心まちづくり課」からひとこと

感染症流行下では、避難者ができるだけ密集しないよう、これまでよりも広い避難スペースや発熱者などの専用スペースが必要となり、避難所一箇所当たりが収容できる人数も少なくなることが想定されます。市では、避難所以外の新たな避難施設の確保に努めていますが、まずは自助・共助の一環として、車中泊のほか、知人や親戚の家など避難所以外への避難について、市民の皆さん一人ひとりがあらかじめ検討しておいてください。行政の取組だけでなく、市民の皆さんの御協力があったこそ、避難所対策は成り立つものと考えています。



## コロナと男女共同参画を考える

新型コロナウイルスの影響により、生活スタイルが大きく変わり、家族内の1人に家事や育児の負担が偏ることはありませんでしたか。普段から家族内でそれぞれ役割分担を行い、困ったときはお互い補助し合える関係を築き上げていきたいものです。

また、今回の感染症をきっかけとして、偏見や差別の問題も浮上してきました。病院などで働く人たちは感染しているのではないかと、という偏見、また、実際に罹患してしまった人を激しく責めるような言動なども見られました。正しい情報を見定めて、お互いを思いやる気持ちを持つことが大切です。ウイルスによる影響はしばらく続くと思われるため、それぞれの新しい生活様式を考えていくことが求められています。

# 「男女共同参画に関するアンケート調査報告書」を ホームページに掲載しています！

<https://www.city.fussa.tokyo.jp/life/environment/gender/1010051.html>



令和元年10月から11月にかけて、20歳以上の市民2,000人を対象に、男女共同参画に関する調査を行いました。

## ＜調査結果から見てきたこと＞

- 学校教育の場では、「男女平等である」と感じている人が多く見られましたが、「政治の場」と「社会・慣習・しきたり等」では、「男性の方が優遇されている」と感じている人が多く、男女平等の実現のための意識・環境づくりに、引き続き取り組む必要があります。
- 男女共同参画に関する市の取組が余り知られていないため、更なる啓発活動が求められます。
- 結婚して子どもが生まれても職業をもち続ける「職業継続型」を望む人が大きく増加しました。働く女性へのより一層の環境整備が必要です。
- DV等の暴力を受けたが、どこにも相談しない人が一定数見られるため、被害者が相談しやすい環境を整えていく必要があります。
- 政策・方針決定の場への女性の参画を進めるためには、保育・介護・家事等が女性だけの負担にならないような環境整備が必要です。



福生市では「男女共同参画社会」の実現を目指し、「福生市男女共同参画行動計画」に基づき各事業を実施していますが、現行計画である「第5期」が令和2年度で満了となることから、現在、「第6期」の計画を策定中です。先ほどの調査結果をもとに、市民の皆さんの声を計画に反映できればと考えています。

詳細な結果につきましては、以下の市のホームページを御覧ください。

トップページ >> 暮らしの情報 >> 環境・まちづくり >>

男女共同参画 >> 令和元年度 男女共同参画に関するアンケート調査報告書

<https://www.city.fussa.tokyo.jp/life/environment/gender/1010051.html>



## 広告を募集しています！

次号は3月発行予定です  
(全戸配布)

「あなたとわたし」に掲載する広告を募集しています。

規格：4.5センチ × 9センチ。各号2枠

広告料：1枠：15,000円

※申込み用紙は、市のホームページからダウンロードできます。

内容により広告掲載できない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

問合せ：福生市生活環境部協働推進課 電話 042-551-1590

## 編集員を募集しています！



誌面の企画や編集、また取材などに興味がある方、何かやってみたい方！経験は問いません。お待ちしております！（無償ボランティア）ご意見、情報もお待ちしています！

### 問合せ

福生市生活環境部 福生市生活環境部 どのような活動をしているのかお伝えします  
協働推進課まで！

電話 042-551-1590

## 編集後記



●新型コロナウイルスの影響により、私たちの働き方も一つではなく、多様な働き方の可能性があるということが分かりました。社会や

地域、家庭生活でもそのスタイルが変化中、今後、新たな男女共同参画の形が見えてくることでしょう。

..... [M]

## 市民編集員

○田中 直美 ○波多 佳乃 ○正木 直美 ○郡司 綾子  
作製：(有)あつぱ印刷工房 協力：金 相範(編集)

あなたとわたし vol.62 2020年12月発行

発行：福生市 生活環境部 協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話042-551-1590

<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>



再生紙を使用しています